

NPO 法人 CRMS 市民放射能測定所 福島  
平成25年度活動報告

福島市置賜町8-8

パセナカ Misse 1F

## 活動報告

### ●食品・環境測定

問い合わせ・測定依頼共に減少傾向にあります。特にNaIシンチレーターによる測定は検出限界がセシウム各核種5Bq/kgと高く、現在流通している食品の多くが不検出となるため需要は低い状況です。データの蓄積と年度ごとの変化を調べるため「お米測定プロジェクト」と称して平成23年度、24年度にお米の測定を行った生産者から25年度のお米を提供してもらい測定しました。お米に限らず食品全体の測定値は概ね低く、基準値を超えるものは野生のキノコ類や山菜などの限られたものに留まっています。

また、ゲルマニウム半導体検出器を活用しての水や土壌といった環境測定も進め、その測定数は平成25年度の全測定件数の 1/4 になりました。土壌については汚染が高く、特に県立高校のプールに溜まった汚泥の測定に関しては10万 Bq/kg を超える結果が出た為、県にプールの汚染水及び汚泥の処理についての要望書の提出と記者会見を行いました。

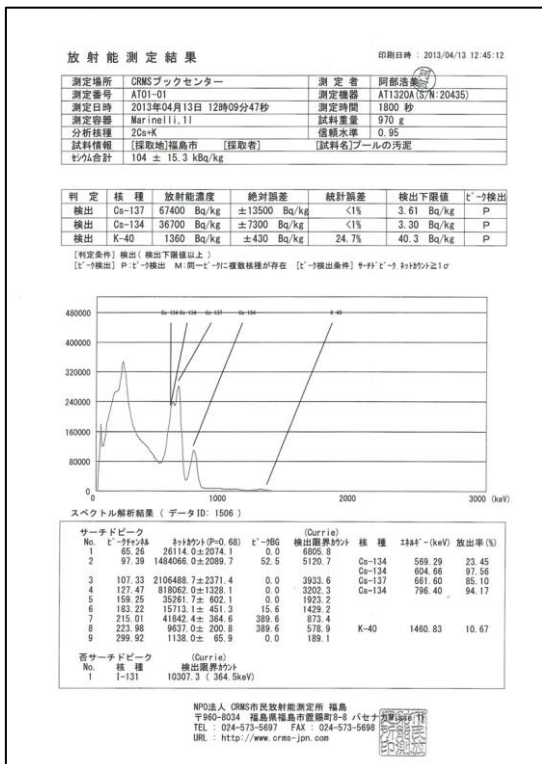
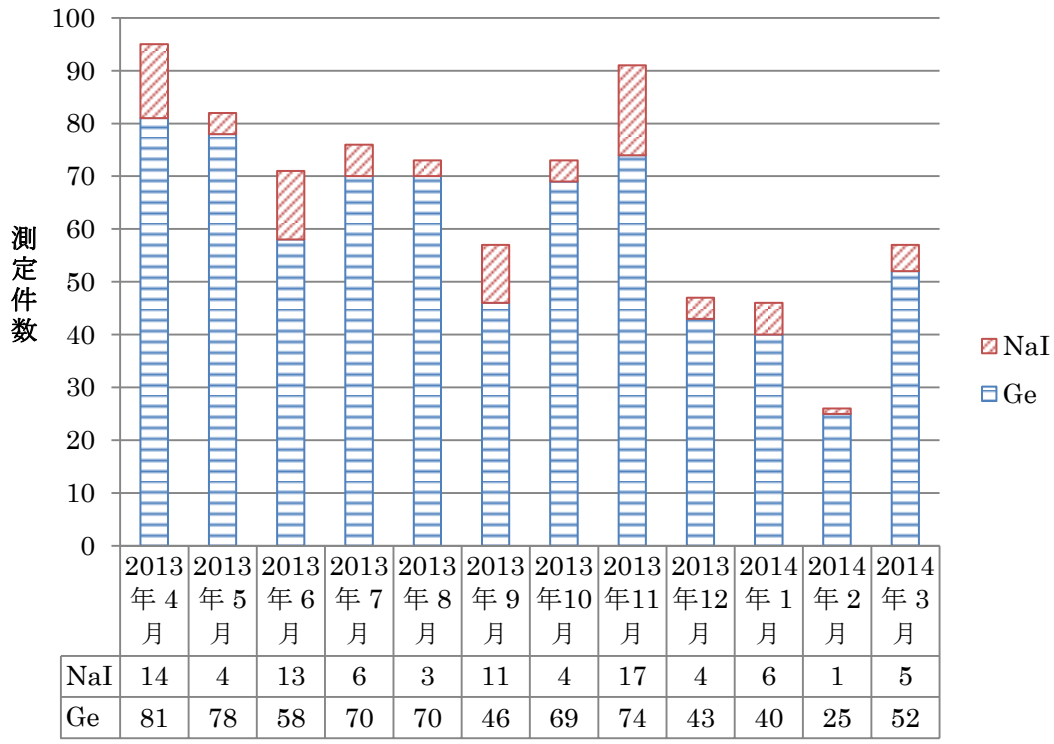
#### 平成 25 年度測定実績

	NaI	Ge	合計
4月	14	81	95
5月	4	78	82
6月	13	58	71
7月	6	70	76
8月	3	70	73
9月	11	46	57
10月	4	69	73
11月	17	74	91
12月	4	43	47
1月	6	40	46
2月	1	25	26
3月	5	52	57
合計	88	706	794

#### 食品・環境別測定件数

食品	水	土壌
592	90	112

# 2013年度食品・環境測定実績



プールの汚泥の放射能測定結果

NPO法人 CRMS 市民放射能測定所 福島 <http://crms-fukushima.blogspot.jp/>  
〒960-8034 福島県福島市8-8 パセナカビル1F TEL: 024-573-5997 FAX: 024-573-5998

2013年4月23日

福島県教育委員会  
教育長殿

NPO法人 CRMS 市民放射能測定所  
福島市霞園町8-8 パセナカビル4階  
理事長 丹治 寛大

福島県内学校のプール汚染水および汚泥の処理について要望書

日頃は県内児童生徒の健康管理維持にご尽力くださり誠にありがとうございます。  
すでに朝日新聞等で報道がありました県立学校のプールに残る高濃度放射能汚染水および汚泥についての処理に関し以下のことを要望いたします。

記

- ① 現在まで放出されていないプールの水と汚泥の放射能測定と実態調査
- ② 県内各学校のプール排水処理の実態調査 (2011年夏から今夏まで)
- ③ 測定結果と実態調査の結果を速やかに情報公開
- ④ 未排水校7校については厳重な安全対策の上回収処理を行う

要望の趣旨

当測定所が測定した県立高校3校のプール水汚泥は8468から119461ベクレルでした。このことは県内多数の学校の水、汚泥にも同様の結果が出るものと推測され児童生徒は勿論のこと周辺住民や、農業用水として使用する農業従事者へも不安を与える事象です。早急なる実態調査と情報の公開、適切な処分を切にお願いいたします。  
また、詳細は添付の試料をご覧ください。

プールの汚染水及び汚泥の処理についての要望書

## ●WBC(ホールボディカウンター測定)

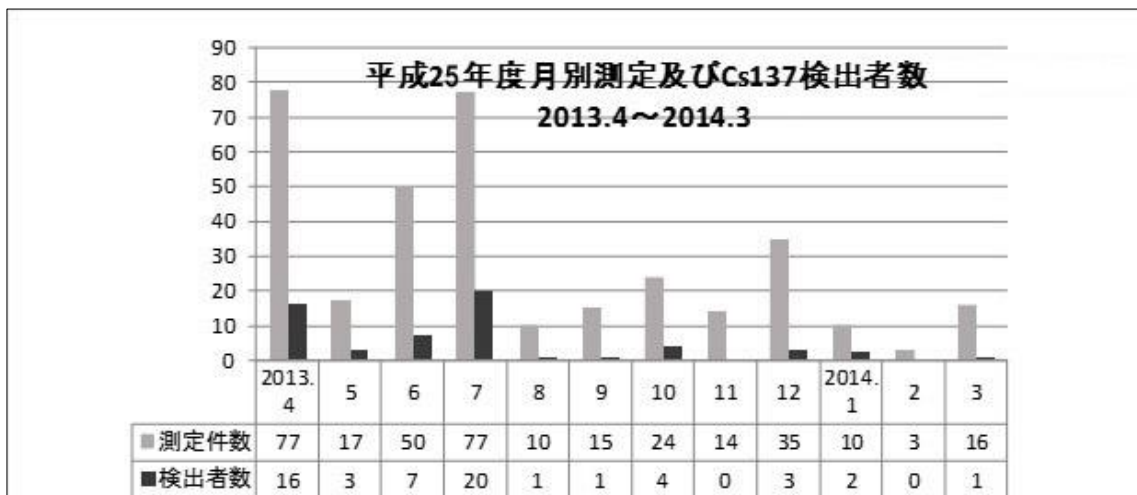
事故後3年を経て、半減期の短いセシウム 134 をとらえることが難しくなっています。2013年5月から測定時間を10分に延長することで検出限界を下げセシウムを捉える体制としました。また、WBC測定器は定期的なバックグラウンド校正を行って適正測定に努めています

年月	WBC 事業内容
H25.05.14	ゆうきの里東和ふるさと協議会第3回 WBC 測定結果報告会
H25.07.08	ゆうきの里東和ふるさと協議会第4回目測定 7/10 まで
H25.09.30	ゆうきの里東和ふるさと協議会第4回目測定結果報告(文書発送)
H25.10.11	フォローアップ事業(電話による再測定の案内 200 件) 11 下旬まで
H25.11.28	桜の聖母、東稜高校測定結果報告書および再測定の案内(文書発送)
H25.12.	フォローアップ事業(400 件郵送)
H26.01.25	WBC 測定結果報告(関係者への報告書発送)
H26.03.18	WBC 測定結果公開(サイトにアップ)

### 1. 平成25年度の WBC 測定実績

平成25年度の測定総数は348名となっています。4月と7月は定期的に測定をしている農業団体による定期測定月にあたっていたため70人を超えました。6月および12月は企業からの団体申し込みがあり測定数の増加につながりました。それ以外では稼働率が低く、測定器が生かされていない状況が続いています。フォローアップ事業として再測定案内を個別に行いました。電話口での反応は悪くありませんでしたが実際の測定数の増加には結びつきませんでした。

なお、セシウム 137 が検出される方の人数は348名中58名(16.7%)でした。



## 2. WBC校正およびファントム・線源貸出事業

WBCのバックグラウンド校正等を下記のとおり5回行いました。なお、ファントム・線源は東京大学から借用しており管理運営をまかされています。

年月	依頼先	作業内容
平成 25 年 5 月	CRMS 市民放射能測定所福島	WBC BG 校正・線源測定
平成 25 年 5 月	(株)アドフューテック	ファントム貸出
平成 25 年 7 月	那須町保健所	WBC BG 校正
平成 25 年 11 月	ひらた中央病院	ファントム・線源貸出
平成 25 年 12 月	あいコープふくしま	WBC BG 校正

### ●健康相談会

健康相談会は避難先の支援団体と連携し、福島県内外での開催と他団体との共催の形で 17 回行い、のべ 90 家族 200 人の方の相談にあたりました。

福島市開催に関しては、再相談者の割合が高くなっています。医師に話を聞いてもらえて「焦り」や「不安」が軽減されるのか、相談を重ねるたびに「表情が穏やかに変わっていく人」が多い様です。ご家族の WBC 測定結果や食品測定のデータの資料を提示されて、安心して帰っていく人もいました。しかし、福島市内在住者と県外への避難者、関東地区からの避難者が抱える問題にはそれぞれに違いがあり一様ではありません。今後も参加者の実態に応じたきめこまやか対応を心がけながら、健康相談会を継続する必要性があると感じております。また、スタッフ研修として、ご協力頂いている医師よりベラルーシ視察の様子や甲状腺の病態から癌の治療についての講演をお聞きしました。

なお、健康相談会では以下の事項も実施しました。

- 健康相談時に配布する生活手帳、資料の作成・配布
- 健康相談後、医療機関受診が必要とされた参加者に対する受診先の紹介
- 健康相談の事後フォロー（電話による状況確認や再相談の勧奨）
- 医療機関受診時に検査目的を理解し、主体的に行動できるような教育
- 陰膳調査（平成 26 年 2 月～開始）

### ニュースレター等発行

平成 25 年 6 月 2012 活動報告 500 部発行

平成 25 年 11 月 CRMS福島レポート Ver6 1000 部発行

平成 26 年 3 月 CRMS福島レポート Ver6 1000 部増刷

平成24年度の活動報告書や、定期的にブログで発表している測定結果をまとめ、ニュースレターとして発行しました。



CRMS福島レポート Vol.06



NPO法人CRMS市民放射能測定所福島

そして、それぞれ12月中旬に一週間干してもらいました。外干した大根はこちらになります。



- ・福島市遼利
- ・福島市大明神
- ・福島市御山
- ・福島市笹谷

四カ所分で測ったのに何故五検体あるかというと、イレギュラーで室内干しの物が持ち込まれたからです。ただ、この検体は原材料の産地も福島市飯坂町ですし、干す前に測定していないので比較出来る対象ではありません。以下、測定結果の表を載せます。

【切干大根プロジェクト「原産地 兵庫県」】				
種類	Cs-134	Cs-137	Cs 合算	採取地
切干大根	92.5 ±4.93 Bq/kg	143 ±6.12 Bq/kg	236 ±7.86 Bq/kg	福島市遼利
切干大根	42.8 ±3.21 Bq/kg	58.3 ±3.93 Bq/kg	101 ±5.07 Bq/kg	福島市大明神
切干大根	12.9 ±1.95 Bq/kg	20.3 ±2.31 Bq/kg	33.2 ±3.02 Bq/kg	福島市御山
切干大根	10.5 ±1.70 Bq/kg	15.8 ±2.07 Bq/kg	26.3 ±2.68 Bq/kg	福島市笹谷
参考 切干大根 (飯坂町原産 FF式ファンヒーター 前室内干し)	ND<2.16 Bq/kg (ピークは見えるが 測定時間切れ)	3.99 ±0.81 Bq/kg	3.99 ±0.81 Bq/kg	福島市大明神

低いところは26.3Bq/kgから高いところは236Bq/kgと見事に数値がばらけました。正直、場所によってこれだけ数値に差がつくとは思っていませんでした。ただ、地名だけ出してもピンとこないかもしれないので大根を干した場所を Google earth に重ねてみます。

CRMS 福島レポート Vol.06

## ●ホットスポットファインダー測定(空間線量マップ化)事業

平成26年2月から NTTdocomo による「ドコモ市民活動団体への助成」を受けることができました。NPO 法人シャローム災害復興チームと協働して実施しています。

子どもたちに関わる人たち、父母、先生、保母などと一緒に、自分たちの子どもの行動範囲、自宅・学校・保育園・通学路・遊び場などの放射能を測定して、結果の地図化を行い、子どもたちの外部被曝を低減するためにできることを一緒に考える機会を作ることを目的として平成24年度より開始しました。

## 測定実績

No.	日にち	場所	内容	共同測定者
1	H25.09.30	おかやま保育園	園内・散歩コース測定	園長先生
2	H25.09.30	S小学校	通学路測定	保護者
3	H25.10.29	玉野小学校	校内・通学路測定	5,6年生と先生
4	H25.10.30	M小学校	通学路測定	保護者
5	H26.01.24	こじか保育園	散歩コース測定	園長先生

震災後3年経ち、福島市内は約1/3の住宅地の除染が終わりました。震災後保育園外に散歩に出ていない保育園もあり小さな園児の健康に対し、とても気を使っています。そんな中、園長先生と散歩コースの空間線量を一緒に測定できた意義は大きいと考えています。空間線量の高くなる場所の傾向があることがわかってきました。それは、土の上、低くて水の流れ泥の溜まりやすいところです。土手や草むらなどがそれにあたります。残念ながらそういう場所こそ小さな子どもが好きな場所でもあります。一緒に測定した保育士さんが震災前の子どもたちと一緒に遊んでいた土手の線量が高いことが分かったときに、もう子どもたちとここで一緒に遊べないと涙を流していました。

## 今後のホットスポットファインダー測定活動について

測定方法については確立できたと思います。今後は、判りやすい地図作成および説明内容を工夫することが課題です。また広報活動を行い、一緒に測定して頂ける父母、保育園、幼稚園、学校等を募集していきます。

## ● 市民放射能測定データサイト(みんなのデータサイト)

<http://www.minnanods.net/>

参加測定室 全国 26 の放射能測定室

登録データ数 5924 件 (当団体登録データ数 2081 件) 平成 26 年 3 月 31 日現在

「みんなのデータサイト」は、「三井物産環境基金」の助成を受け平成25年～26年を活動期間とし開始しました。

東京電力福島第一原子力発電所の事故後、当所のような市民による測定所が全国に数多く発足しました。しかし、せっかくの各測定所のデータや活動における情報共有も決して

相互間の繋がりを作るに至ってはおりません。そこで「未来につなげる東海ネット・市民放射能測定センター（C-ラボ）」、全国市民放射能測定所ネットワーク・世話人「こどもみらい測定所」、「認定 NPO 法人 高木仁三郎市民科学基金」を幹事団体に、当所も含めた実行委員形式で活動をおこなっております。

このプロジェクトに参加している市民放射能測定所が測定した測定データを共通のデータベースに統一フォーマットで蓄積していき、一般の方にもわかりやすい形で見てもらえることが出来るサイトにするのが一番の狙いです。そして多くの方々が放射能汚染に関して手軽に自分で調べることができるサイトを目指しています。

今後、参加している測定所とともに順次成果報告を行っていく予定です。

### ●書籍・物品販売・測定器レンタル事業

書籍販売売上、243 千円、物品販売売上 94 千円（放射線カルタなど）

測定器レンタル利用者数 のべ 36 人